

二つの大震災 あの時のことを思い出す

担当：人文社会学分野 小林道太郎

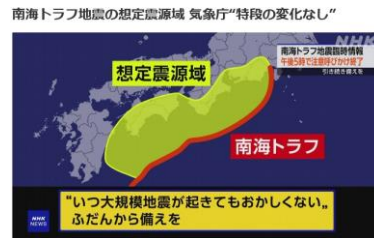
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

（8月8日(木)夕方～8月15日(木)17時）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240815/k10014549341000.html>

2024年8月8日午後4時半すぎ、日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生したことによる

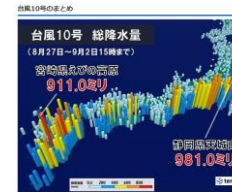
マグニチュード8から9クラスの南海トラフ巨大地震は今後30年以内に70%から80%の確率で起きるとされる



つい最近のいろいろ

台風10号

（8月28日(水)～9月1日(日)前後）



https://tenki.jp/forecaster/t_yoshida/2024/09/02/30414.html より



能登半島地震

（1月1日(月)16時10分ごろ）

マグニチュード7.6 最大震度7
建物被害、火災
津波、陸地の隆起
土砂災害
道路被害、断水 等

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20240108_03.html

「建物被害・火災」相次ぐ揺れで耐震性低下か

最大震度7の揺れで多くの建物に倒壊するなどの被害が出ました。ビルも倒壊したほか、断水して津波の危険がある中で消火が遅れ、輪島市などでは大規模な火災も発生。

専門家の調査で、火災の発生率は東日本大震災を上回っていたことが分かりました。



“過去”の震災

1923年9月1日 11時58分
関東大震災（101周年）

1995年1月17日 5時46分
阪神大震災（29周年）

2011年3月11日 14時46分
東日本大震災（13周年）



- 避難所の諸問題
数の不足、水・食料不足、衛生状態、プライバシー、心身の不調
- ボランティアの活動
- PTSD（心的外傷後ストレス症候群）
- 仮設住宅の諸問題
住環境、コミュニティの分断、孤独死

阪神淡路大震災

地震発生時のこと（揺れを感じる）

その後わかったこと／起こったこと

- 建物・高架の倒壊
- 火災
- 道路・鉄道が使えない
- 断水
- 連絡がとれない

その後の人生への影響

NHKスペシャル (2019): あの日から25年 大震災の子どもたち

阪神・淡路大震災と、その後の人生

NHKで行った大規模調査でわかったこと

<https://www.nhk.or.jp/kobe/shinsai/survey25/>

東日本大震災

「想定外」の規模の揺れと津波

原子力複合災害

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/natural-disaster/natural-disaster_23.html

国内観測史上最大 マグニチュード9.0の巨大地震

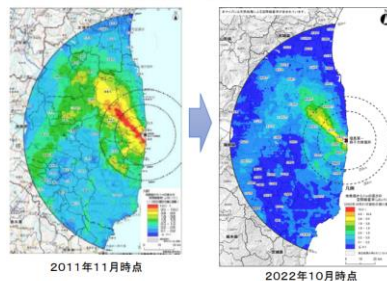
2011年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。



復興庁 2024年8月 復興の現状と今後の取組 より

https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/202408_genjoutorikumi.pdf

空間線量率の推移



2011年11月時点

2022年10月時点

出典：原子力規制庁 福島県及びその近隣県における航空機モニタリングの結果について

福島第一原発事故

- 3月11日 地震発生、電源喪失
- 避難指示 原発から半径10km
- 3月12日 1号機水素爆発
- 避難指示範囲拡大 半径20km
- 3月14日 3号機水素爆発
- 3月15日 4号機水素爆発
- 大量の放射性物質の拡散
- 3月17日 自衛隊ヘリから放水
- 12月16日 政府 冷温停止宣言

エピソード episode 屋根に避難し九死に一生 甘かった想定

(宮城県気仙沼市 40代 男性)

地震のときは、会社にいました。自宅が川沿いにあったので家族のことが心配で、4キロの道を自転車で行き自宅に戻りました。既に家族は避難した後で、家にはだれもいませんでした。そうこうしているうちに津波、火事と大変なことになります。ベランダから屋根へと避難しました。屋根の上から見える光景は、人が乗ったまま流される車や、家が激流にのみ込まれて流されるという信じ難いものでした。かといって助けることもできずに、ただただ見過ごすことしかできませんでした。今でも胸がつぶれそうになりますし、半年間は夢でうなされました。

ここももう危険だと思い、ちやうどその場にいた4人と助け合いながら、ふだんなら歩いて 15 分ぐらいのところを 1 時間かけて中学校に避難しました。3 日目に家族の安否は確認できました。震災 2 日前にたまたま津波が来たら 2 階に逃げようと言っていたばかりでしたが、今回の地震はそんな避難では駄目なことがわかりました。

「想定外」を考えて、日ごろから家族と話し合い、避難場所をきっちりと決めておくことです。そして、迷わずにその避難場所を目指すことです。まずは自分自身の身を守ることです。

一日前プロジェクト エピソード (平成23年3月東日本大震災) より

内閣府：一日前プロジェクト <https://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/index.html>
 冊子「災害をイメージしてみよう」より
https://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/pdf/ichinichi_web_0227.pdf

- 交通の寸断、ガソリン不足
- 物資を届けることが難しい
- 避難所の困難：女性、高齢者、障害者などに対する配慮など
- 米軍も支援活動を行った
- 仮設住宅、みなし仮設、高台移転
- 停電、電力不足の広範な影響
- 廃棄物処理の問題
- 農林漁業のダメージ

		震災前又は最大値	現状
被災者	避難者数	47万人 【震災当初】	2,9万人 【令和5年2月】 【内被災者支援センター職員数：6,81人】
	応急仮設住宅の入居者数	31.6万人 【平成24年4月（最大）】	958人 【令和5年11月】
インフラ・住まい	復興道路・復興支援道路 （青森、岩手、宮城、福島）	570km 【計画】	570km（100%） 【令和3年12月】
	災害公営住宅 （青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉、新潟、長野） 【被災者向け向け】	29,654戸 【計画（F）】	29,654戸（100%） 【令和2年12月】
	高台移転による宅地造成 （岩手、宮城、福島）	18,226戸 【計画（F）】	18,226戸（100%） 【令和2年12月】
	製造品出荷額等 （岩手、宮城、福島）	10兆7,637億円 【令和2年2月】 【前年度対比（%）：100.0】 【前年度対比（%）：100.0】	11兆6,193億円 【令和2年3月】 【前年度対比（%）：100.0】 【前年度対比（%）：100.0】
産業・農業	営農再開可能な農地面積 （青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉）	19,640ha 【津波被災農地面積】	18,870ha（96%） 【令和5年3月】
	避難指示区域の面積	1,150km ² 【平成25年8月（最大）】	309km ² （27%） 【令和5年5月】
原子力災害	日本産農林水産物・食品に対する輸入規制実施国・地域数	55か国・地域 （最大）	6か国・地域 （国境10か国・地域） 【令和5年3月】

15

<https://www.youtube.com/watch?v=DrYvTTTUpWw>

15